

令和5年7月20日

学生、教職員の皆さんへ

旭川医科大学長
西川 祐司

旭川医科大学における生成 AI の利用について

近年、人工知能（AI）が様々な分野や業種に導入され、業務の効率化や質向上に効果を上げてきましたが、昨年末に公開された ChatGPT は、誰でも手軽に利用できるため、一般社会に急激に普及し始めています。このような生成 AI は今後も劇的な進歩を遂げていくことは間違いなく、その社会的な影響力は計り知れません。現在、全世界的に生成 AI の利便性ととも、その危険性について盛んに議論されているのはご承知の通りかと思えます。

本学の学生および教職員の皆さんには、以下の点に留意していただき、生成 AI のメリット・デメリットを十分に理解した上で適切に利用するようお願いいたします。

記

1. 生成 AI に個人情報や機密情報を入力しない。

個人情報、未公開の情報（未発表の論文、研究成果等）や機密情報を入力すると、入力された情報は生成 AI に蓄積され、情報漏洩につながる可能性があります。

2. 生成 AI が出力した結果を無批判に受け入れない。

生成 AI によって作成された文章には、間違いや矛盾等が含まれている可能性が十分にあります。また、生成 AI は出典等を示さないこともありますので、注意が必要です。必ず批判的な目で情報の正誤、内容の正確さを見きわめてください。

3. 生成 AI が出力した文章や画像等をそのままの形で成果物にしない。

生成 AI はインターネット上のコンテンツを学習して蓄積していますので、出力されたものをそのまま使用すると、著作権の侵害や剽窃などの不正行為とみなされる可能性があります。

4. 自ら考える能力を涵養するために、生成 AI に依存する習慣を身に付けない【特に学生（学部学生、大学院生）の皆さんへ】。

生成 AI はきわめて便利なツールであり、ある意味で私たち人間より有能であることは確かです。しかしながら、生成 AI に成果物の作成を任せると、何の学修効果も得られません。そして、生成 AI に依存する習慣がついてしまうと、自ら考える能力や創造性が失われてしまう危険性があります。

今後も状況に応じ、注意の見直しや追加の通知等を行っていきます。